

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
41002	X-13/33-B-3-410026				×	×	×
授業科目	担当教員						
専門演習（情報）D	中田 豊久. 近山 英輔	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1年次生】経営情報学部経営学科 【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース 【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科 【1年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択必修	3年
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択必修	3年
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択必修	3年

授業目的

コンピュータやネットワークの働きを理解し、それらを使いこなす技術を習得して、その発展可能性を理解する。そのために、具体的に情報システムの設計と構築を行なう。

情報システム演習（D 分野）で学んだ Web 技術（クライアント側）を活用し、本演習では主としてサーバ側の Web 技術を学習する。これにより、クライアント側と一体化した Web システムとしての情報システムを設計構築する。

この演習を通して、情報システムを構成するコンピュータ技術とネットワーク技術の利活用方法を修得し、情報システム構築に必要な技術的基盤を理解し、仕事や生活などにおける問題解決に活用できる力を身につけることを目標とする。

各回毎の授業内容

第 1 回

【授】開発環境の設定と確認
【前・後】課題の再確認（1 時間）

第 2 回

【授】プログラミング言語（PHP）その 1
【前・後】課題の再確認（1 時間）

第 3 回

【授】プログラミング言語（PHP）その 2
【前・後】課題の再確認（1 時間）

第 4 回

【授】プログラミング言語（PHP）その 3
【前・後】課題の再確認（1 時間）

第 5 回

【授】データベース（MySQL）の利用方法
【前・後】課題の再確認（1 時間）

第 6 回

【授】Web システムの基本（クライアントとの接続）
【前・後】課題の再確認（1 時間）

第 7 回

【授】Web システムの基本（ログイン認証、セッション管理など）
【前・後】課題の再確認（1 時間）

第 8 回

【授】Web システムの基本（セッション管理、データベース接続など）
【前・後】課題の再確認（1 時間）

第 9 回

【授】Web システムの基本（データベース接続など）
【前・後】課題の再確認（1 時間）

第 10 回

【授】Web システムの提案書と機能仕様書の作成
【前・後】課題の再確認（1 時間）

第 11 回

【授】提案システムの作成（課題 1）
【前・後】課題の再確認（1 時間）

第 12 回

【授】提案システムの作成（課題 2）
【前・後】課題の再確認（1 時間）

第 13 回

【授】提案システムの作成（課題 3）
【前・後】課題の再確認（1 時間）

第 14 回

【授】提案システムの作成（課題 4）
【前・後】課題の再確認（1 時間）

第 15 回

【授】提案システムの作成（課題 5）
【前・後】課題の再確認（1 時間）

第 16 回

【授】提案システムの作成（課題 6）
【前・後】課題の再確認（1 時間）

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合 (%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	10		7.5		75
宿題・授業外レポート	10	5	5		5		25
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

第 1 回～9 回を評価点 60%、第 10 回～15 回を 40% で評価する。この 40% には、各自が設計構築した Web システムに関する最終成果物（第 15 回提出のレポート）の評価 25 点満点を含む。合計 100 点満点として評価する。

受講者提出物の質問などを用いてフィードバックを行う。

教科書参考書

受講者には、Web システム構築および実行環境をインストールした USB メモリを配布する。Windows 環境があれば自宅でも作成実行することができるので、できるだけ自学自習を求める。テキストも電子化して、この USB で提供する。

受講に当たっての留意事項

- 受講学生の理解度による演習の順序や分量を調整することがある
- 作成する Web ページやプログラムなども配布した USB メモリに保存するため、他のコンピュータ授業のように情報センターのバックアップに依存することはできない。対応策は授業初回で説明するが、USB メモリを忘れるとき授業を受けることができないことを併せて、しっかりした自己管理能力を求める。
- プログラミングに関しては、不明点やバグについては指導教員に遠慮なく質問すること。また、ネットなどを自ら進んで調べるなど、積極的で自立的な学習態度が不可欠である。

学習到達目標

具体的に Web システムを設計構築することを通して、情報システムを構成するコンピュータ技術とネットワーク技術を体得して、情報システム構築に必要な技術的基盤を理解することができ、現実の問題解決に応用できる力を身に着けることができる（各回の評価 75% より作成した Web システム 25% により評価）。

JABEE

（2018 年度入学以前）関連する学習・教育到達目標：E

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習